

インドネシア水道に係る情報収集 No. 200502W

検索サイト	Google	実施日	2020/05/10	実施者	T. Masuoka
検索方法 : 「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; https://www.aljazeera.com/news/2020/04/indonesia-palu-endured-triple-disaster-coronavirus-looms-200420061531575.html					
標題 : Indonesia's Palu endured a triple disaster, now coronavirus looms					
<p>題名 ; インドネシアのパル市は、(2年前)3重の災害に耐えてきたが、今コロナウイルスが迫っている。</p> <p>(数万人が未だに一時的な避難所生活を送っているパル市は、コロナウイルスが蔓延し始めているが、医療施設は再建を始めたばかりである。)</p> <p>2018年インドネシアのスラウェシ州でマグニチュード7.4の地震が発生。その後、津波と液状化が起きた。⇒死者4,845人、家屋倒壊10万戸以上。</p> <p>また、医療施設も甚大な被害を受け250床の病院が倒壊、再建中(来月終了予定)。(住民260万人の州全体で、病院のベッド数は計1,100床。)</p> <p>パル市での住民の感染防止の難しさについて、次の4つの観点から述べている。</p> <p>1. 距離を取る事が難しい(避難所では物理的な距離を取ることは困難)</p> <p>避難所の現状 ; 699か所に約9,000人が居住。</p> <p>避難所では各家族は、20㎡未満の部屋に住み、十分な換気がない。トイレ4か所とキッチン1か所を共同使用している。</p> <p>また、灌漑施設が破壊され、食料が生産不可で、水源はあてにできない状態。</p> <p>2. テント生活</p> <p>多くの住民は、2018年9月の災害直後に建設された緊急避難テントに住んでいる。→このような状態では、感染がすでに広がっている可能性ありと専門家は述べている。</p> <p>★中央スラウェシ州はウイルス陽性者を24人と発表したが、実際は数百人感染の疑い。</p> <p>記事掲載日 4月20日。</p> <p>3. 食料や水が入手困難</p> <p>この地域では、食料や安全な水の入手が困難なため、住民のウイルスへの抵抗力が低下している。それに加え、破壊された施設の瓦礫からの粉塵と非衛生的な住環境により、呼吸器系感染症の発生率が高い。その上、多くの住民はインターネットにアクセスできないため、コロナウイルスについて理解が進んでいない。</p> <p>また、住民は外に出ることができず、食糧の入手、医療施設の利用が困難で、水の供</p>					

給なども制限されている。

4. 新しい住宅は未完成

住民は、感染予防のため、家に留まるように言われているが、民間の財団、NGO、政府が建設した住宅は、日中は暑くなりすぎて熱射病のリスクが高い。

また、政府が供給予定の住宅の建設は、2019 年末の予定が、未だに完成していない。

窮屈な空間、失われた生計、不安定な食糧の供給により、家庭内暴力、未成年者の結婚、プライバシーの侵害等が引き起こされていると報告されている。

備考

Palu ; パル市、スラウェシ島の西側にある都市。人口 37 万人 (2015 年)